



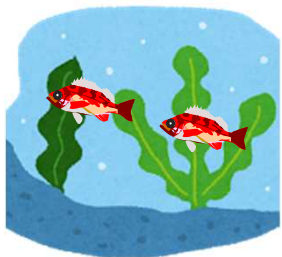
ブルーカーボンを活用した温室効果ガス排出抑制への取組

～新潟県内での具体的な取組事例～

新潟県水産海洋研究所 増殖環境課

主任研究員 濱岡秀樹

藻場の持つ機能



生き物の住み家



水をきれいにする



魚がたくさん
獲れる



レジャースポット
きれいな景色

下支え

人々の豊かな生活

藻場は人々にとって重要

紹介する内容

水産海洋研究所が力を入れていること

1. 失われた藻場を回復する取組
2. 藻場を拡大させる取組
3. 持続的な活動にするための取組

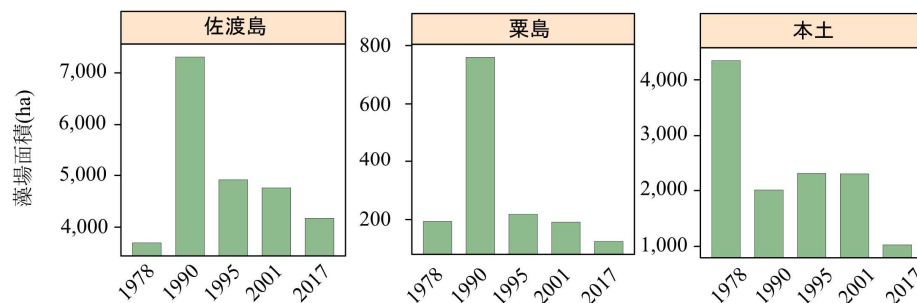
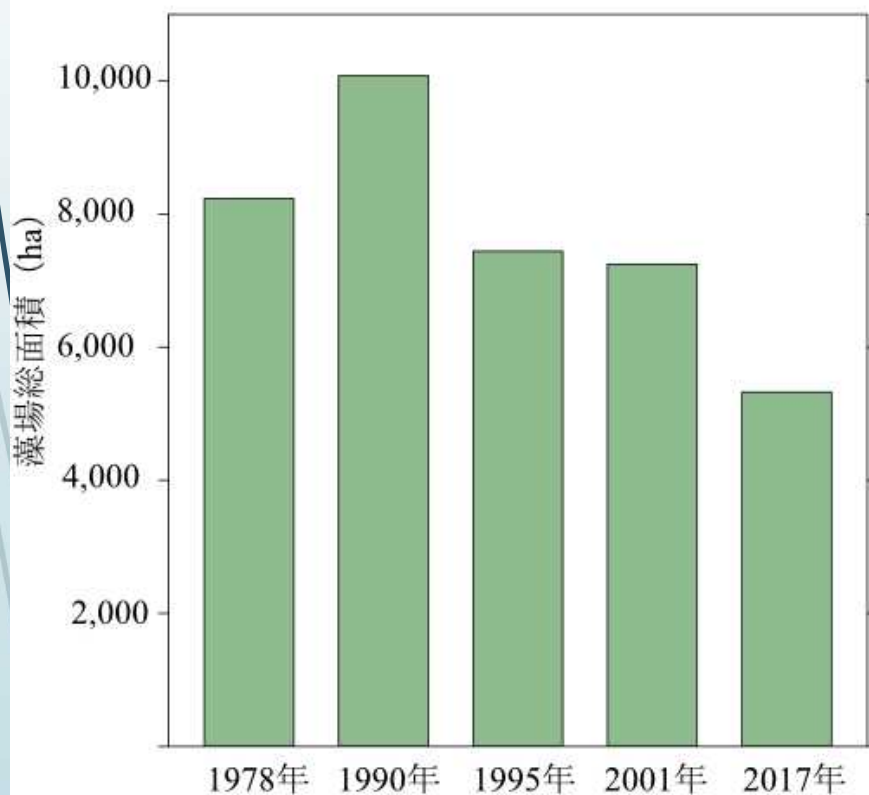


1. 失われた藻場を回復する取組

1. 失われた藻場を回復する取組

1990年以降、藻場は減少している

県内の海藻藻場の総面積の推移



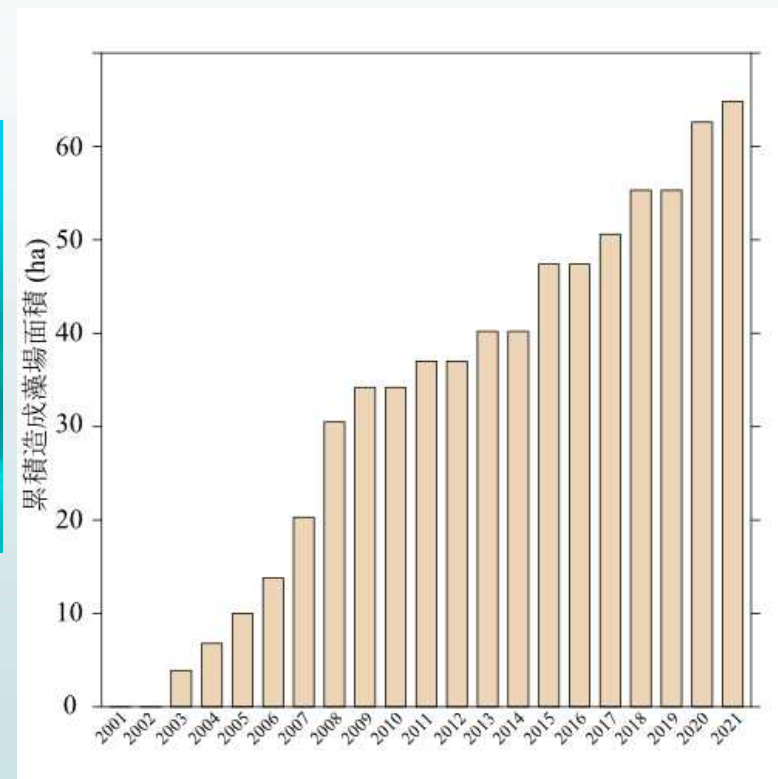
主な原因

- ✓埋め立て
- ✓磯焼け

1.失われた藻場を回復する取組

埋め立て

代わりに藻場を造ることで回復を図る



藻場造成の累積面積の推移

粟島の砂泥地に設置した藻場礁

1.失われた藻場を回復する取組

磯焼け

主に巻貝による食害

サザエ



オオコシダカガンガラ

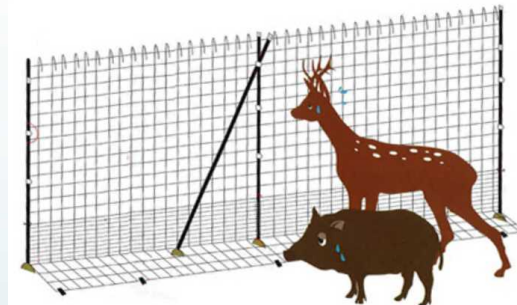


ウラウスガイ



1.失われた藻場を回復する取組

磯焼け 食害対策



食べに来ないように柵を作る

波浪に弱く、メンテナンス費がかかる

→ **コストが高い**

コスト削減にはどうすればよいか？

そもそも、巻貝類は大きく育った海藻をあまり食べない

柵で全部を守らなくても、若い芽が成長するまで守ることができればよい

1.失われた藻場を回復する取組

磯焼け 食害対策

粟島で絶賛実験中



トゲの密度と長さを変えたパネルを設置した様子

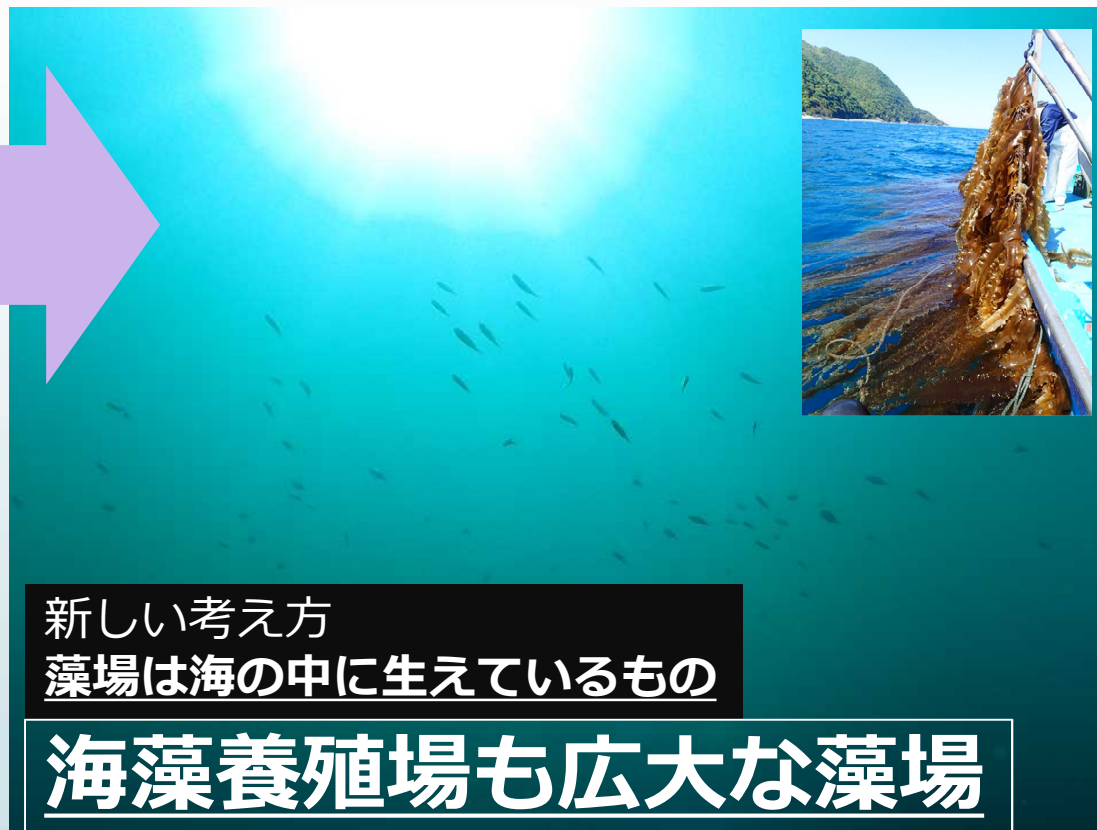


デコボコの海底でもトゲ付きネットが有効か？



2. 藻場を拡大させる取組

2. 藻場を拡大させる取組



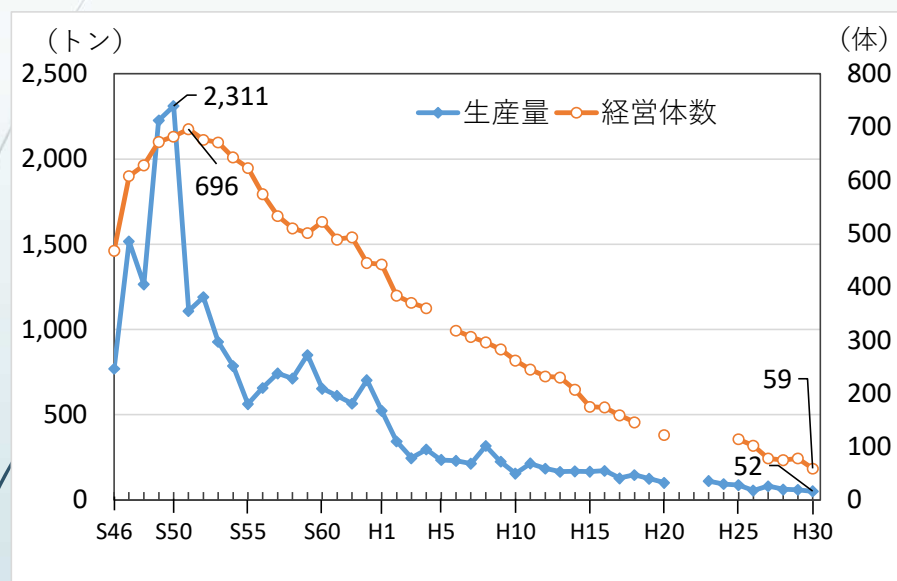
海藻養殖場の拡大



新しい藻場の拡大

2. 藻場を拡大させる取組

高齢化や安価な輸入ものの影響で海藻養殖は衰退



佐渡島におけるワカメ養殖経営体数の推移

取組事例

- ✓ 新しい海藻種の養殖技術開発
- ✓ 低コストでたくさん作れる技術の開発

➡ 海藻養殖の活性化と養殖場拡大



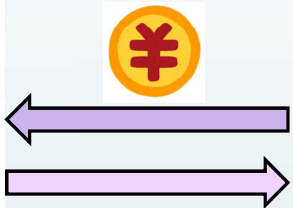
3. 持続的な活動にするための取組

3. 持続的な活動にするための取組

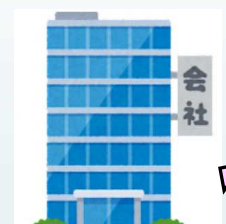
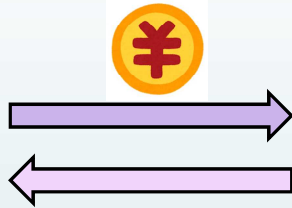
今の仕組み



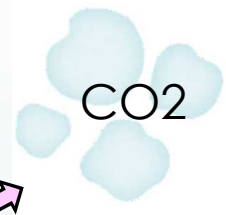
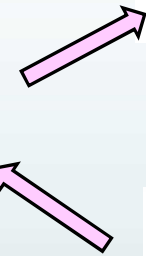
漁業者



消費者



企業



藻場を増やす取組は直接的にお金にならない

⇒ みんな（環境）のために自分を犠牲にする人は少ない

海藻のマーケットは小さい

⇒ 値崩れすることが分かりながら大量に養殖する人はいない

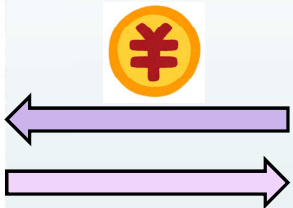
結局、取組は続かない

3. 持続的な活動にするための取組

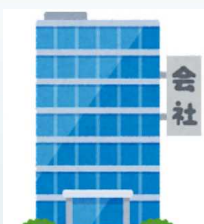
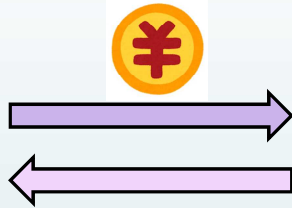
今の仕組み



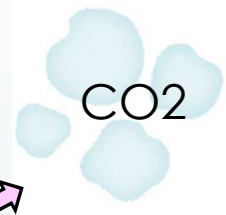
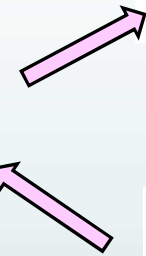
漁業者



消費者



企業



藻場を増やす活動をどうやって持続的に行うか？



社会に対して新しい仕組みの導入が必要

An underwater photograph showing a diver in the upper right corner, surrounded by dense green seaweed. The water is clear and blue. A white rectangular box is centered in the image, containing the Japanese text 'ありがとうございました' (Thank you very much).

ありがとうございました